

●クーロンメーター

MODEL NK-1001/1002



特 長

- 測定対象物（導体）に接触させるだけで簡単に放電電荷量が測定できます。
- 帯電した絶縁物に囲まれた電子デバイスやプリント基板の誘導帯電による放電電荷量が測定できます。
- 実際の静電気破壊現象（CDM）に合わせた測定方法です。
- 接触式のため測定者の違いによる測定誤差がほとんどありません。
- ピークホールドと連続測定の2モードの切り替えができます。
- オプションで導電性プローブチップを用意いたしましたので、安心して敏感な製品の測定ができます。
- オプションでACアダプターを準備いたしましたので、評価、実験等で長時間使用時に便利です。
- 別売のZHO-200PNを使用することにより、デバイスキャパシタンスの換算ができます。
- 別売のKQ-1400を使用することにより、静電電荷量測定（ファラデーケージ法）にも対応可能です。

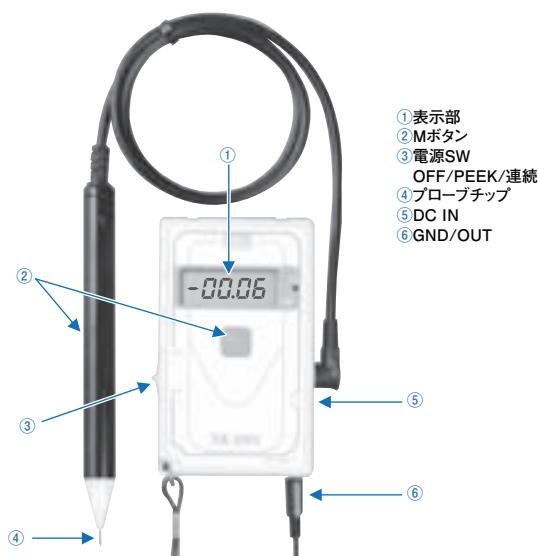
仕 様

型式	NK-1001	NK-1002
検出方式	コンデンサ充電方式	
測定範囲	±0.01~±99.99nC	±1~±9999nC
アナログ出力	0~±999.9mV	
測定精度	±5%+2カウント以内	
測定モード	連続測定またはピークホールド	
プローブ内基準 コンデンサー静電容量	0.1 μF	1 μF
環境	温度0~40℃、湿度65%RH以下（結露なきこと）	
電源	単4アルカリ乾電池2本（連続使用4時間以上）	
寸法	本 体：117 (D) ×70 (W) ×24 (H) mm プローブ：167 (L) mm×15φ	
質量	約230g（プローブ、乾電池含む）	
オプション	導電性プローブチップ AC電源用アダプター（AC100~240V） 記録計接続ケーブル（L=1000mm）	

クーロンメーターは、電子デバイスの製造、検査、アセンブリ工程で、静電気破壊の原因となる放電電荷量が簡単に測定できるプローブタイプの電荷量測定器です。

電子デバイスに障害を与える多くのESD現象はCDM（デバイス帯電モデル）で表されます。CDMは、デバイス自体が帯電し、その外部電極が接地されたときに、高速で高いピーク電流が流れる現象を表すモデルです。クーロンメーターは、その電流の積分値である放電電荷量を高い精度で計測します。

各部の名称



別 売 品

電荷量測定用直流電源 ZHO-200PN



測定対象物に任意の電圧を帯電させ、クーロンメーターにて測定することにより静電容量を算出するためのハンディタイプの直流電源です。各種擬似帯電にも利用できます。

出力電圧可変範囲	±0.6~±1.1kV
電源	単4アルカリ乾電池2本
寸法・質量（本体部）	117 (D) ×70 (W) ×24 (H) mm 140g
（プローブ部）	140mm×12φ 20g

ファラデーケージ KQ-1400



クーロンメーターと組み合わせることによりファラデーケージ法による静電電荷量測定ができます。

ファラデーカップ寸法	100mm×100φ
外形寸法	180 (D) ×310 (W) ×160 (H) mm
質量	約4.2kg